資料 2

第5次福山市上下水道事業経営審議会(第4回)

報告 下水道事業等の経営状況

2025年(令和7年)10月8日

1 報告 経営状況 (下水道事業)

年度別の決算状況

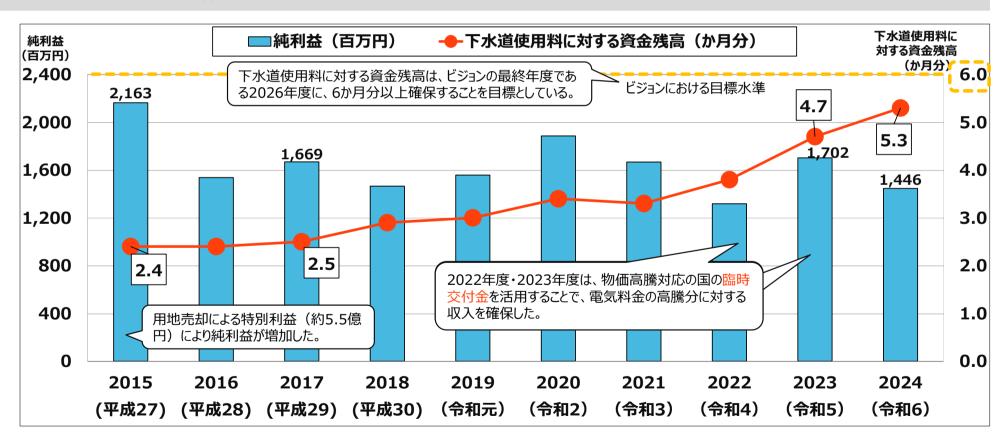
- ① 排水戸数の増加等による使用水量の増加などにより下水道使用料は増加したものの、 一般会計繰入金の減少により事業収益が減少した。また、流域下水道維持管理負担 金や減価償却費などの事業費用も増加した影響により、**当年度純利益が減少**
- ② 当年度純利益が確保できたことや企業債償還金が減少したことなどにより、<u>資金残高が</u> 増加

(単位:千円)

年度 科目	2020	2021	2022	2023	2024	2023-2024 の傾向
事 業 収 益	11,794,342	11,700,954	11,679,224	11,828,934	11,702,947	
(内数)下水道使用料	6,013,509	5,955,028	5,866,243	5,853,551	5,936,099	~
事 業 費 用	9,908,664	10,033,901	10,361,480	10,127,037	10,256,930	>
差引(当年度純利益)	1,885,678	1,667,053	1,317,744	1,701,897	1,446,017	\
資本 的 収入	4,627,392	5,878,889	9,436,067	10,783,905	10,432,202	\
資 本 的 支 出	9,994,291	11,400,029	14,728,310	16,120,507	15,719,207	\
(内数)建設改良費	3,458,406	4,824,742	8,352,802	9,944,887	9,628,072	\
企業債償還金	6,532,506	6,575,287	6,375,508	6,175,582	6,091,097	•
資本的収支差引	△ 5,366,899	△ 5,521,140	△ 5,292,243	△ 5,336,602	△ 5,287,005	>
補 てん財源等	3,717,772	3,794,889	4,172,263	4,056,004	4,167,234	
単年度資金収支	236,551	△ 59,198	197,764	421,299	326,246	
当年度末資金残高	1,713,502	1,654,304	1,852,068	2,273,367	2,599,613	→
一般会計繰入金	4,098,146	4,055,500	4,123,552	4,197,030	3,992,328	\
企 業 債 残 高	80,081,968	76,948,981	76,046,473	76,435,691	76,747,618	

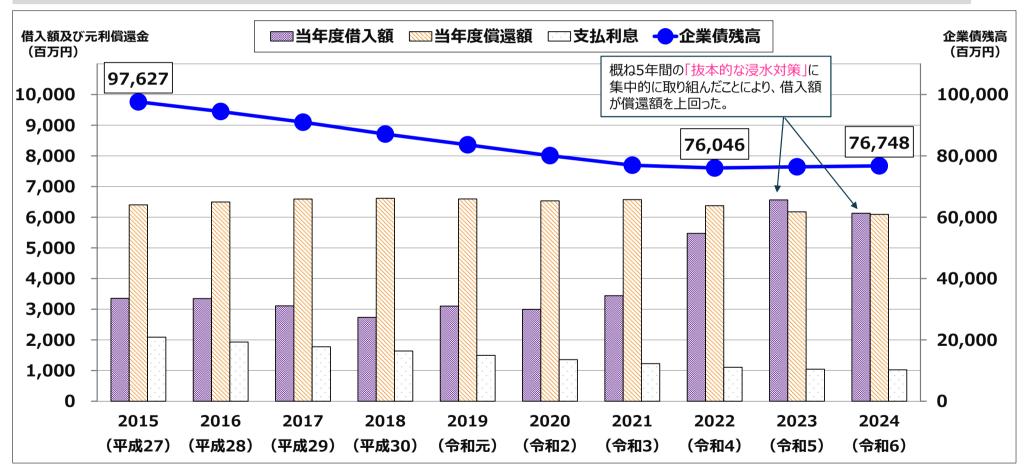
《個別指標》当年度純利益・下水道使用料に対する資金残高の推移

- 中長期ビジョンにおいて、事業経営の健全性・持続性確保に向け、純利益と下水道使用料に対する資金残高を 個別指標として設定
- 当年度純利益は確保でき、併せて、下水道使用料に対する資金残高も前年度より増加した



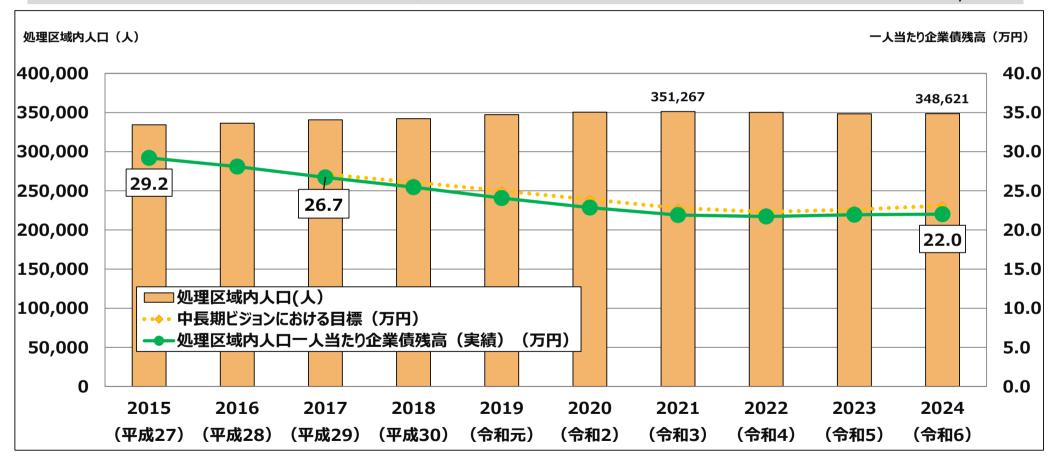
企業債・支払利息の推移

■ 抜本的な浸水対策や施設の強靭化対策(長寿命化・耐震化)の事業費増に伴い、企業債残高が増加 (中長期ビジョンでの見込みどおり)



《主要指標》処理区域内人口一人当たり企業債残高の推移

■ 抜本的な浸水対策や施設の強靭化対策(長寿命化・耐震化)の事業費増に伴い、企業債残高が増加しているものの、処理区域内人口一人当たりの企業債残高は目標水準を達成できている(2024年度:23.1万円/人)



2 報告 財政推計(下水道事業)

財政推計(収益的収支)

- 事業収益:水需要予測に基づく下水道使用料の減少は見込まれるものの、雨水処理に要する経費等に対する一般会計繰入金が増加することにより、事業収益全体では増加傾向
- 事業費用:維持管理費、減価償却費、支払利息が増加することにより、事業費用全体で今後大きく増加
- 収支:事業収益の増加傾向により当面の間は純利益を確保できる見通しだが、事業費用が大きく増加することから、 純利益は減少していく見通し

(単位:億円)

[2	分	_		年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
	事	業	収	益	117.9	117.0	116.8	118.3	117.0	118.2	120.2	124.8	133.5	136.9	141.1	142.9	144.7	146.2	146.8	147.1
	(内数	() T	下水道俱	押料	60.1	60.1	58.6	58.5	59.3	57.7	58.0	57.8	57.5	57.4	57.0	56.8	56.5	56.4	56.0	55.7
		-	般会計	繰入金	35.1	34.7	34.8	37.0	34.9	37.7	39.4	43.2	48.5	50.7	53.4	54.9	56.3	57.4	58.0	58.2
		Ę	期前受	金戻入	22.0	22.1	21.9	22.1	22.7	22.6	22.7	23.7	27.4	28.7	30.5	31.1	31.8	32.3	32.7	33.1
	事	業	費	用	99.1	100.3	103.6	101.3	102.6	108.1	109.6	114.8	124.8	128.7	134.3	137.1	139.1	141.5	142.4	142.9
	(内数	7) 斜	佳持管 理	費	28.0	30.1	32.7	32.5	33.4	38.2	37.2	38.1	38.2	38.0	38.5	39.3	39.2	40.2	40.3	39.9
		洞	【価償却	費	56.8	57.1	56.9	57.3	58.0	58.2	59.2	61.7	69.9	73.1	77.1	78.6	80.3	81.5	82.3	83.0
		û	≥業債利	息	13.5	12.2	11.1	10.4	10.2	10.5	12.1	13.7	15.4	16.4	17.5	18.0	18.3	18.5	18.6	18.9
	純利	益 (純損失	△)	18.8	16.7	13.2	17.0	14.4	10.1	10.6	10.0	8.7	8.2	6.8	5.8	5.6	4.7	4.4	4.2

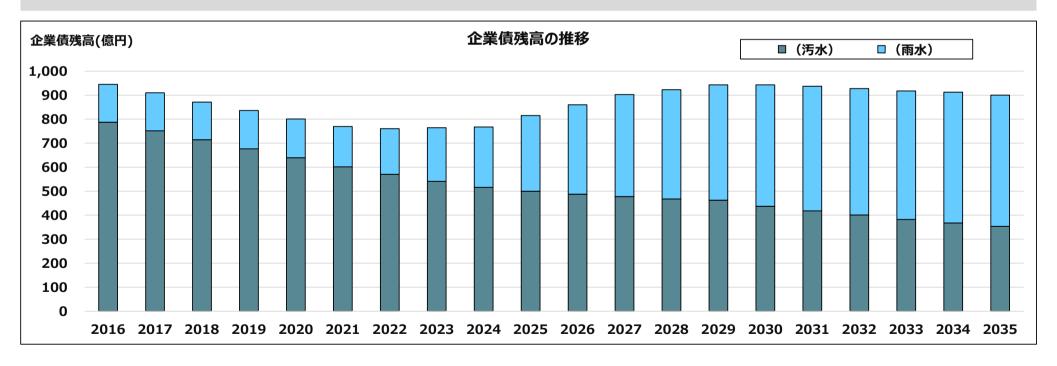
財政推計(資本的収支)

(単位:億円)

D	年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
	資本的収入	46.3	58.8	94.4	107.8	104.3	173.3	177.1	169.9	122.3	124.5	90.5	78.9	69.2	63.0	71.7	56.1
	(内数)企業債	30.0	34.4	54.7	65.7	61.3	106.3	100.1	95.9	71.2	70.9	48.3	41.6	35.9	33.6	37.5	29.9
	国県補助金	9.1	15.6	30.4	34.7	35.0	59.7	71.9	69.3	46.9	49.8	39.1	34.9	31.4	27.9	33.0	24.8
	一般会計繰入金	5.9	5.9	5.4	5.0	5.1	4.8	4.9	4.6	4.1	3.7	3.0	2.3	1.8	1.5	1.2	1.2
	資本的支出	99.9	114.0	147.3	161.2	157.2	222.0	234.2	227.6	181.6	184.8	150.2	137.5	128.8	122.0	130.3	113.0
	(内数)建設改良費	34.6	48.2	83.5	99.4	96.3	163.5	178.8	174.2	130.9	131.9	101.7	90.0	83.4	78.1	87.9	70.8
	企業債償還金	65.3	65.7	63.7	61.8	60.9	58.5	55.5	53.5	50.8	51.0	48.5	47.5	45.4	44.0	42.4	42.2
	資本的収支差引	△ 53.6	△ 55.2	△ 52.9	△ 53.4	△ 52.9	△ 48.7	△ 57.1	△ 57.7	△ 59.3	△ 60.3	△ 59.7	△ 58.6	△ 59.6	△ 59.0	△ 58.6	△ 56.9
	補てん財源等	37.2	37.9	41.7	40.6	41.7	45.8	46.6	47.8	50.7	52.1	53.0	52.9	54.1	54.4	55.5	55.1
	単年度資金収支	2.4	△ 0.6	2.0	4.2	3.3	7.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	1.3	2.3
	当年度末資金残高	17.1	16.5	18.5	22.7	26.0	33.1	33.2	33.3	33.3	33.4	33.4	33.4	33.5	33.6	34.9	37.2
	企業債残高	8.008	769.5	760.5	764.4	767.5	815.3	859.9	902.3	922.7	942.6	942.4	936.5	927.0	916.6	911.7	899.4

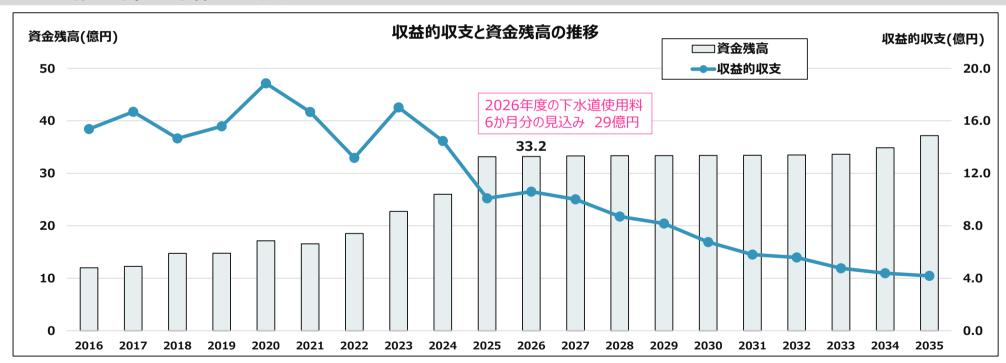
企業債残高~汚水と雨水

- 快適で衛生的な生活環境を確保するとともに、公共用水域の水質を保全するため、また、大雨による浸水被害から市民の生命や財産を守り、安心・安全な生活環境を確保するため、中長期ビジョン後期実施計画(2022~2026)において、浸水対策や施設の強靭化対策を重点的に取り組んでいる
- また、平成30年7月豪雨による浸水被害を受けて、国・県等と連携して抜本的な浸水対策に取り組んできたことから、 企業債残高は近年増加しており、残高に占める雨水の割合も増加している
- 今後は、資金残高の目標水準も踏まえる中で、借入額の圧縮も検討していく



収益的収支と資金残高

- 2015年3月の使用料改定(平均改定率16.56%)などによる財源確保や経費節減など行財政改革に取り組むことで、これまで一定の純利益を確保できてきた
- 中長期ビジョンの最終年度である2026年度には、資金残高が下水道使用料の6か月分以上(中長期ビジョンにおける目標水準)を確保できる見通し



当面、使用料改定(値上げ)は必要ない見込み。引き続き、財源確保等に取り組み、財政状況を注視していく

3 報告 経営状況 (工業用水道事業及び集落排水事業)

年度別の決算状況

(単位:千円)

年度 科目	2020	2021	2022	2023	2024	2023-2024 の傾向
事 業 収 益	2,889,678	3,046,903	2,978,806	3,051,642	3,000,117	
(内数)給水収益	2,646,699	2,754,646	2,650,295	2,707,348	2,742,862	~
事 業 費 用	2,120,047	2,092,106	2,366,138	2,315,364	2,363,988	>
差引(当年度純利益)	769,631	954,797	612,668	736,278	636,129	•
資 本 的 収 入	104,280	2,042	59,702	141,127	149,464	/
資 本 的 支 出	1,103,611	982,893	1,081,155	1,594,503	2,064,394	>
(内数)建設改良費	807,180	757,054	902,184	1,442,098	1,537,154	>
企業債償還金	296,431	225,839	178,971	152,405	127,240	•
資本的収支差引	△ 999,331	△ 980,851	△ 1,021,453	△ 1,453,376	△ 1,914,930	•
補てん財源等	878,031	865,736	888,487	939,803	955,901	
単年度資金収支	648,331	839,682	479,702	222,705	△ 322,900	
当年度末資金残高	7,396,234	8,235,916	8,715,618	8,938,323	8,615,423	\
企 業 債 残 高	884,360	658,521	479,549	327,144	199,904	

年度別の決算状況

(単位:千円)

科目				年度	2024
事	業	Ţ	又	益	277,873
(F	勺数)集 潛	排水処	理施設	使用料	30,096
事	業	Ī	費	用	241,492
麦	差引 ()	当年度	純利	益)	36,381
資	本	的	収	入	24,925
資	本	的	支	出	108,643
(内数)建	建設改」	良費		25,894
	1	企業債	賞還金	ž	82,749
資	本 的	収3	支 差	引	△ 83,718
補	て ん	,財	源	等	77,086
単	年 度	資金	金 収	支	29,749
当	年 度	未資	金列	高	29,749
_	般 会	計約	操 入	金	149,284
企	業	債	残	高	1,303,396